

教育だより

青森県教育庁下北教育事務所
平成26年3月発行
第52号

下北地域健康な
まちづくり運動

青森県教育庁 下北教育事務所

次 長

長 内 喜美穂



マモルさん

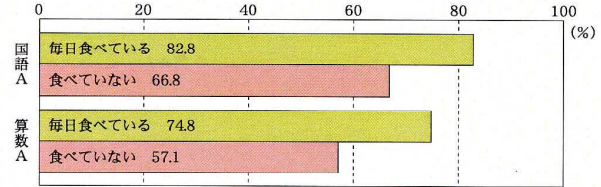
〒035-0073
青森県むつ市中央1丁目1-8
電 話 (0175) 22-8581(内線296)
FAX (0175) 23-8609
e-mail: kimio_osanai@pref.aomori.lg.jp

子どもたちの未来の健康のために

○朝ごはんをきちんと食べましょう

毎朝朝食をとる児童生徒ほど、学力調査の得点が高い傾向にあります。生活習慣の改善から学力向上へ。

朝食の摂取と学力の相関のグラフ (小学校6年生)



(文部科学省：平成24年度全国学力・学習状況調査)

例年になく、寒さの厳しい日々が続いた平成25年度も早いもので3月半ばを迎え、残すところあとわずかとなりました。早朝の寒さも緩み、日一日と早春の光の温もりを感じる今日この頃です。

さて、年度当初、下北管内の学校教育の課題として、①学習状況調査における通過率が全県比で低いこと、②不登校児童・生徒の在籍比率が全県比で高いこと、③肥満傾向児の出現率が高い状況にあるという3点について説明しました。

また、配付しております「平成24年度学習状況調査一下北管内の分析と今後の指導ー」「キャリア教育の指針(総論編)」「キャリアノート」「いじめ問題対応の手引き(抜粋版)」「健康副読本」の活用、さらには「教職員の非違行為根絶のために」「体罰のない学校づくりのために」の資料も研修等に活用していただくこともお願いしました。

現在、今年度の業務に対する成果や課題等を精査し、平成26年度のスタートに向け、その準備に当たっているところですが、特に、肥満傾向児の課題については、管内の家庭、学校、行政等が一体となった取組を計画しております。また、下北県民局と下北教育事務所では「下北地域県民局健康なまちづくり推進本部」を立ち上げ、地域と一体となった気運醸成、県民局職員の健康教養の向上、県民局を挙げての健康教養普及啓発活動に取り組むことにしました。ここに載せております名刺(二つ折り4面印刷)も作成して活用しています。

ところで、各学校では様々な課題への対応に追われた一年ではなかったかと思います。そうした慌ただしい中で、校長先生のリーダーシップの下、先生方の御尽力のおかげで各学校の教育目標の具現化や児童生徒の自己実現に取り組んでいただきましたことに対しまして、心より御礼申し上げます。

結びに、下北教育事務所としましても市町村教育委員会との連携・協力の下、新年度における各学校の教育活動のさらなる充実・発展に向け、積極的に支援して参りたいと考えています。来年度もよろしくお願いいたします。

○下北の子どもの肥満が多い

全国や青森県の平均よりも、肥満傾向児出現率が高い。

小学校1年生から高校3年生までの肥満傾向児出現率



○1日1時間は体を動かそう

○野菜を食べましょう

青森県では、野菜・タンパク質の摂取が不足しています。また、塩分と動物性脂肪をとりすぎです。



○水かお茶を飲みましょう

青森県では炭酸飲料・ジュース・スポーツドリンクの摂取が多く、糖分をとりすぎです。



○食事はできるだけ家族と食べましょう

「授業の充実」に向けて

～学校訪問等を通して～

主任指導主事 氣 仙 宏

学校訪問（計画訪問、要請訪問、随時訪問他）に際して、多大な御理解と御協力をいただきまして、大変ありがとうございました。

小学校、中学校ともに落ち着いた中で授業が展開され、短い時間ではありましたが感心させられる授業を数多く見ることができました。

「分かる授業」が展開されている教室では、授業に集中して考えている子供の姿や、発表したり書いたりという表現活動に没頭している子供の姿を観ることができました。そして、こうした素晴らしい授業をする先生は、子供が何をしたいと思っているのか、何に困っているのか等、子供をよく知っているということにも感心させられました。

ここに、私が学校訪問を通して学ばせていただいた「分かる授業」のポイントを示してみたいと思います。

「分かる授業」の5つのポイント

- ①ねらいが明確になっている授業
- ②ねらいを実現するための手立てが明確になっている授業
【教材、指導方法・指導体制、学習課題等の工夫】
- ③児童生徒一人一人の実態等に応じた指導がなされている授業
- ④ねらいが実現されたかどうか適切に評価されている授業
- ⑤評価が次の授業改善に生かされている授業

これは、『下北の教育』の「授業の充実」の重点として示されていることとも重なりますので、授業づくりにおいて常に意識していきたいと考えています。

たくさんの授業を見せていただいた中で、いくつか課題となる部分も見受けられました。具体的には、授業のねらいが明確でなかったり、「学習課題（問題）」、「学習内容・活動」、「まとめ」、「評価」の整合性が図られていない授業です。

これは、授業のねらいの目的と方法が漠然としていることが大きな原因と考えられます。

目的（身に付けさせたい力等）と方法（授業の中心となる学習活動等）を明確にして授業の「ねらい」を設定し、「学習課題（問題）」、「学習内容・活動」、「まとめ」、「評価」の整合性を図ることが大切になります。

また、落ち着いた授業ではあるけれども、自力解決や作業の場面で、「解決方法が分からない」、「作業が分からない」といった児童生徒の姿も若干見られました。

予想されるつまずき等に対する手立てを具体化し、「何をやればいいのか分からない」、「やり方が分からない」といった児童生徒をなくすよう心がけていきたいと思います。

さらに、児童生徒が主体的に考え活動できる授業づくりのために、児童生徒が主体的に活動する場（考える、作業する、話し合う、まとめるなど）を十分確保し、児童生徒の状況を的確に見取り、必要な指導や支援に努めることで授業の充実を図っていききたいと思います。

各町村で行われた「学習状況調査等説明会」では、これら「授業の充実」に関わることとして、以下のことにも触れさせていただきました。

- ・ノート指導
- ・授業における振り返り活動
- ・家庭学習
- ・見届けのある教育活動

何を、どのように書けばよいのかというノート指導や、ねらいや目的を児童生徒と共有する家庭学習、負担の少ない振り返り活動例等について紹介させていただきました。やらせっぱなしにしない、見届けのある教育活動により授業の充実を図っていきたいと思います。

授業を見せていただく際にいつも思い出す言葉があります。それは、「いくら良い授業を観ても、観る先生に力がなければ授業の良さ、素晴らしさは観えない。」という若い頃に先輩の先生方に言われた言葉です。

授業の切り口、発問の善し悪し、指示の出し方、意見の吸い上げ方等々、観せて頂く1時間の授業の陰には、授業者の数多の工夫や労力があるのであり、いかにそれを子供の目を通して観ることができるかということは重要です。

自分自身の力不足の面を少しでも補うべく、今後とも研鑽に努め、共に「授業の充実」を図っていきたいと思っています。

以下に1月の「教育課題連絡会議」において示した重点を掲載いたします。

各学校においては、これらの重点について実態と照らし合わせながらさらに焦点化するなど、自校の教育活動を点検する観点の一つとし、御活用いただくことをお願いします。

授業の充実

□目的（身に付けさせたい力等）と方法（授業の中心となる学習活動等）が明確な授業の「ねらい」を設定し、「学習課題（学習問題）」、「学習内容・活動」、「まとめ」、「評価」の整合性を図る。

□学習内容の定着と授業改善のために評価の場面や方法を工夫し、予想されるつまづき等に対する手立てを具体化した授業を構築する。

□児童生徒が主体的に活動する場（考える、作業する、話し合う、まとめるなど）を十分確保し、児童生徒の状況を的確に見取り、必要な指導や支援に努める。

特別活動の充実

□学級活動において、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画させる活動や望ましい人間関係の在り方などを題材とした活動を積極的に行う。その際、話し合いやコミュニケーション能力を高める体験的な活動などを通して行う。

□児童会活動・生徒会活動において、学校生活の向上に向けた取組などを行う際の話合い活動では、様々な意見を出させた上で比較検討して決定するなど、話合いの進め方を工夫する

生徒指導の充実

□協同指導体制の充実については、生徒指導主任（主事）を中心とした実践の反省・見直しを進める。

□日常の観察、調査、面談などによる児童生徒理解、定期的に行う児童生徒についての情報交換等を基に、支援の必要な児童生徒に積極的に働きかけ、人間関係の調整・改善を図る。

道徳教育の充実

□児童生徒の道徳的実践力を育成するために、発問や板書等を工夫するとともに、書いたことを発表するだけに留まらず、考えを深め合えるような話合いを目指した授業づくりを進める。

□「私たちの道徳」の活用の方針を道徳教育全体計画に位置付けるとともに、各学年の年間指導計画において、「私たちの道徳」を活用する時間を位置付ける。

体育、健康教育の充実

体育

□児童生徒が運動する楽しさを味わいながら、技能、能力を高め、体力の向上を図っていくことができるように、運動の特性を明らかにし学習過程や指導方法の工夫に努める。

健康教育

□児童生徒が健康に関する基礎的な理解や技能の習得を通して、健康課題に適切に対処し、健康な生活が実践できるよう家庭との連携を図る。

食育

□健康な食についての関心を高めるとともに、おやつ等の適切なとり方について家庭と連携し、望ましい食習慣や食に関する知識と実践力を身に付けさせる。

キャリア教育の推進

□学校や地域社会の実態に即して自校のキャリア教育におけるねらいを明らかにするとともに、キャリア教育推進委員会等の組織を設置し、教職員の役割を明確にするなど、全教職員の協力体制のもとに円滑に実践していく運営体制を整える。

□体験活動や職場体験活動などを行う際、ねらいを明確にし、他の教育活動と関連付けたり、勤労観・職業観を育む観点から事前指導・事後指導を充実させる。



特別支援教育の充実

□特別支援教育コーディネーターを中心に、日常的に校内委員会等を活用し、校内支援体制の充実を図る。
また、特別支援教育についての全教職員の理解を深めるため、研修体制の整備・充実を図る。
□長期的視点に立った一貫した適切な支援のため、情報を共有し、校種間や関係機関との連携を強化する。

国際化に対応する教育の推進

□我が国や郷土に関わる学習を踏まえ、異なった文化や習慣を理解し、それらに積極的に関わっていかうとする態度を育てる。

情報化に対応する教育の推進

□各校の情報教育推進における課題を明確にしながら指導体制を整備し、身に付けさせたい情報活用能力を発達段階ごとに整理して、年間指導計画の作成や見直しを進める。
□情報通信機器の利用に関わる児童生徒の実態を把握し、発達段階に応じた指導内容を整理し、家庭や地域社会と連携した情報モラル教育の充実を図る。

研修の充実

□学校の教育課題の解決へ向けた校内研修となるような研究主題を設定し、研究主題と研究目標、研究仮説等との整合性を図る。
□目指す児童生徒像を設定したり、児童生徒の変容を捉える観点を明確にしたりするなど、具体的な方法による研究仮説の検証を行う。

環境教育の推進

□環境教育に関わる分掌を確実に位置付け、環境教育を組織的・継続的に推進できるようにする。

へき地・複式教育の充実

□複式学級において同単元同内容指導をする場合、それぞれの学年の発達段階を考慮した学習にするために、年間指導計画の見直しや修正を図るとともに、ねらいや評価基準の設定の仕方に配慮する。
□合同学習や集合学習、交流学習を行う際は、集団としての望ましい人間関係の育成だけでなく、各教科等としての目標を達成するために、各学年のねらいや学習内容に配慮した指導計画を作成するとともに、指導体制の工夫をする。

「私たちの道徳」（全面改訂版「心のノート」）の活用について

指導主事 山 本 敦

「私たちの道徳」は、「心のノート」を全面改訂したものであり、児童生徒が道徳的価値について自ら考え、実際に行動できるようになることをねらいとして作成された道徳教育用教材です。厳密な使用義務はありませんが、初等中等教育局教育課程課では、積極的な活用を求めています。



わたしたちの道徳
小学校 1・2 年



わたしたちの道徳
小学校 3・4 年



私たちの道徳
小学校 5・6 年



私たちの道徳
中学校

初等中等教育局教育課程課の資料を基に、その特徴と活用のポイントを以下に示します。

1 特徴

- ・道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、また、家庭や地域においても活用することが期待される。
- ・学習指導要領に示す道徳の内容項目ごとに「読み物部分」と「書き込み部分」で構成している。
- ・児童生徒の発達の段階を踏まえ、先人等の名言、偉人や著名人の生き方に関する内容を多く取り上げるとともに、いじめの問題への対応や我が国の伝統と文化、情報モラルに関する内容などの充実を図っている。

2 活 用

(1) 学校での活用

① 道德の時間での活用

道德の時間において中心的な資料としても、補助的な教材としても活用できる。「読み物部分」と「書き込み部分」とを併せての1単位時間を通した活用や、他の教材と併せての活用もできる。

② 学校の教育活動全体を通じての活用

各教科等の学習において、それぞれの特質に応じて道德性を育んだり、道德の時間との関連を図って指導を行ったりする際に活用できる。また、日常生活や学校の教育活動における様々な体験を、道德教育の視点から捉え直し、児童生徒の内面に根ざした道德性を育んでいく上で有効に活用することができる。

(2) 家庭や地域での活用

家庭や地域で話し合ったことを書き込んだり、家族が書き込んだりする欄が多く設けられており、家庭や地域で広く活用できる。家庭や地域での活用を通じて、家庭や地域と連携して児童生徒の豊かな心を育んでいくことができる。

(3) 児童生徒による自主的な活用

学校や家庭において何度も読み返したり、書き込んだりして学習することで、道德的価値について自ら考えるきっかけとなり、道德性を育んでいくことが期待される。

各学校においては、道德教育の全体計画や道德の時間の年間指導計画に位置付けるなどして全教職員で共通理解を図り、児童生徒の発達段階を踏まえて計画的に活用するようお願いします。あわせて、家庭や地域での活用や、児童生徒の自主的な活用が促されるよう、家庭や地域と連携を図るなどの適切な配慮をお願いします。

今年度も、「小・中学校道德教育研究協議会」の1日目（会場：むつ来さまい館）及び2日目（会場：大平中学校）や「命を大切に作る心を育む教育活動推進事業に係る公開授業研究会」（会場：風間浦中学校）など、道德教育に関連する事業においてたくさんの先生方の御協力をいただき、おかげさまで各事業が大変有意義なものとなりました。ありがとうございました。今後も、文部科学省の動向を見据えながら、下北管内の道德教育の一層の充実を目指したいと思っておりますので、26年度の道德教育に関する主管事業等への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。



今年度行われた独立行政法人教員研修センター及び県教育委員会主催の各種研修会等への参加状況をお知らせいたします。

◆教職員等中央研修（中核教員研修）[つくば市]

關 政明（第二田名部小学校教諭）
佐々木倫也（田名部中学校教諭）

◆子どもの体力向上指導者養成研修

（東部ブロック）[札幌市]

俣田 登（脇野沢中学校教諭）

◆学校組織マネジメント指導者養成研修

[つくば市]

野崎 幸宏（第一田名部小学校総括事務主幹）

◆健康教育指導者養成研修 [つくば市]

（健康コース）祐川 育子

（第一田名部学校養護教諭）

（学校安全コース）星山 優

（奥戸中学校教諭）

◆生徒指導指導者養成研修 [つくば市]

齊藤 靖浩（近川中学校教諭）

◆日本人若手英語教員米国派遣事業

[ニュージャージー州]

猪口 優野（東通中学校教諭）

◆道德教育指導者養成研修

（ブロック別指導者研修）[仙台市]

竹本 陽子（大間小学校教諭）

平沢 和哉（大畑中学校教諭）

■青森県総合学校教育センター教員研修講座の講師

○栄養教諭・学校栄養職員5・10年経験者研修Ⅱ

宮木 正信（第二田名部小学校校長）

○教務主任講座

千吉良 岳（佐井中学校教諭）

○新規採用学校栄養職員研修

飛内美津子（東通小学校栄養教諭）

○特別支援教育新担当教員講座

藤本 陽子（東通中学校教諭）

○武道研修講座

二階 幸喜（奥戸中学校教諭）



■青森県総合学校教育センターの推薦等研修受講者

○教頭のための学校経営講座

原 穰（下風呂小学校教諭）

横山 信子（東通小学校教諭）

坂本 芳博（関根中学校教諭）

○ミドルリーダー研修講座（前期・後期）

早坂 真悦（奥内小学校教諭）

榎本 聡是（大畑中学校教諭）

○小学校体育科研修講座

眞嶋 朗晋（第一田名部小学校教諭）

山谷 優（大平小学校教諭）

石田 光人（大間小学校教諭）

皆川 洋介（奥戸小学校教諭）

○保健・安全教育研修講座

秋元 新也（第三田名部小学校教諭）

石川 博昭（東通小学校教諭）

菊池 直樹（関根中学校教諭）

菊池 常幸（佐井中学校教諭）

○運動部活動研修講座

斎藤 光（大湊中学校教諭）

野澤新乃介（奥戸中学校教諭）

○授業を変える！効果的なICT活用実践講座

石川 禎大（大平中学校教諭）

○教科等教育長期研究講座

橋本 賢吾（下風呂小学校教諭）

二本柳一直（大平中学校教諭）

○教育相談長期講座

佐藤 雅布（牛滝中学校教諭）

○特別支援教育長期研究講座

今 良太（大湊中学校教諭）



■青森県総合学校教育センター

教員研修講座の発表者

○初任者研修(中)生徒指導講座

富山 高明（近川中学校教諭）

○食育推進のための学校給食主任等研修講座

石井 祐子（第二田名部小学校栄養教諭）

○社会と自然のつながりから学ぶ環境講座

佐藤 雅布（牛滝中学校教諭）

○教科等教育長期研究講座

佐藤 由美（第一田名部小学校教諭）

■その他

○初任者研修実施協議会委員

北村 昭彦（大平小学校校長）

○夢実現サイエンス・キッズプロジェクト
理科中核教員

新松美代子（大畑小学校教諭）

小島 一玄（田名部中学校教諭）

○「いじめ問題に関する指導の方針」

作成委員

町田 晋一（苫生小学校教諭）

○へき地・複式教育ハンドブック（国語科編）

作成委員

奥本香奈子（奥内小学校教諭）

○特別支援学級等指導員

吉川 医（第二田名部小学校教諭）

齋藤和加子（苫生小学校教諭）

藤本 陽子（東通中学校教諭）

○就学指導委員会専門員

安藤 出（第三田名部小学校教諭）

斎藤 佳子（むつ中学校教諭）

○地区就学相談・教育相談会相談員

吉川 医（第二田名部小学校教諭）

安藤 出（第三田名部小学校教諭）

山崎るり子（大平小学校教諭）

齋藤和加子（苫生小学校教諭）

川島 信彦（大間小学校教諭）

■表彰校等

○ハートフルセミナー開催校

東通村立東通中学校

○青森県学校給食表彰

東通村立東通中学校